

競 技 上 の 注 意

<競技事項>

1. 適用する競技規則・・・2023年度日本陸上競技連盟競技規則による。ただし、フィールド種目においてTR5.5は適用しない。
2. 本大会は、招集所を設け、招集完了後は役員の手配で現地まで誘導を行う。
 - ・選手招集所は100mスタート付近室内走路内に設ける。
 - ・プログラム記載の招集開始時刻までに招集場所に集合すること。招集開始時刻より点呼を開始する。
 - ・招集完了時刻に遅れた者はその競技種目に出場できない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻前に招集所の役員にその旨を申し出て、役員の手配に従うこと。
 - ・すべての選手は棄権する場合、必ず招集開始時刻までに競技者係に棄権届けを提出すること。当日出場できなくなった場合も棄権届けを提出する。
 - ・リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の1時間前までに時間厳守で競技者係に提出すること。
3. 競技場は全天候型につき、9mm以下のスパイクピンを使用すること。
4. アスリートビブスのない者の出場を認めない。胸・背両方に付ける。(跳躍種目は除く)
5. 補助競技場の使用方法は、「春季陸上についてのお知らせ」に従い、練習種目の範囲などを守って使用すること。

<トラック競技>

1. トラック種目(100m, 200m, 100mH, 110mH)は、予選・決勝で行う。予選の記録のタイム順8名で決勝を行う。その他は、タイムレース決勝とする。
2. リレーで使用したテープは、競技後すぐに各自必ず取り除くこと。
3. 長距離種目(800m以上)は写真判定装置を用いるため、出走前にスタート付近で役員から配布された腰ナンバーを受け取り右腰(やや後方)に結着すること。レース後は、フィニッシュライン前方の所定の場所にすぐ返却すること。

<フィールド競技>

1. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。

走 高	男子	練習 1m45	1m50 1m55, 1m60, 1m65, 1m70, 1m75, 1m80 1m83 ・・・以後2cm毎
	(四種)	1m30	1m35, 1m40 1m45, 1m50, 1m55 ・・・以後3cm毎
跳	女子	1m26	1m31, 1m36, 1m41, 1m46, 1m51 ・・・以後3cm毎
	(四種)	1m15	1m20, 1m25, 1m30, 1m35, 1m40・以後3cm毎
棒 高 跳	男子	1m60 2m60	1m80から10cm毎, 以後役員が指示
	女子	1m50 2m00	1m60から10cm毎, 以後役員が指示

※状況により、試技開始の高さを変更する場合がある。

2. 走幅跳・砲丸投・円盤投は、必要に応じてパスラインを設けることがある。
3. 走幅跳はスタンド側をAピット(1組)、トラック側をBピット(2組)とする。
4. 走高跳は100mスタート側ピットで行う。
芝スタンド側をAピット(1組)、メインスタンド側をBピット(2組)とする。
5. 砲丸投は100mゴール側で行う。
芝スタンド側をAピット(1組)、メインスタンド側をBピット(2組)とする。
6. 補助競技場での砲丸・円盤の使用を禁止する。なお、競技開始30分前より、競技場内において練習を行うことができる。

<その他>

1. 盗撮・不審者対応について

- ・競技会場で選手の家族や学校関係者がカメラ・ビデオ（タブレットやスマートフォンは除く）などの撮影機器を使用する際には、撮影許可申請を提出し、撮影許可証を携帯された方のみ撮影できる。

* 撮影許可証申請方法

正面スタンド下のロビー内にある受付で撮影許可申請書に必要事項を記入の上、預かり金（1、000円）を支払い、許可を得ること。撮影許可証の有効期限は当日限りで、競技終了後速やか（10分以内めど）に必ず返却すること。その時に預かり金は返却される。

- ・報道等で撮影を行う場合は、必ず主催者が用意したビブスを着用すること。
- ・撮影対象が競技会方針と異なると思われる場合は、記録内容の確認を求められることがある。事案によっては、警察に引き継ぐこともある。

2. 観戦場所と応援について

- ・メインスタンドダッグアウトについては、観戦者の緊急時避難場所として確保するため、場所取りやテントの設営などの使用を禁止する。
- ・メインスタンドでの集団応援や立っての応援及びテントの設営は禁止する。
- ・更衣室にシートを敷いての場所取りや独占は禁止する。また、密を防ぐため、更衣が終了次第すぐに退出すること。
「のぼり」「横断幕」の設置はメインスタンドの最上段のみとする。